

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 :PH調整剤ダウン
会社名 :全国農業協同組合連合会
担当部署 :肥料農薬部
住所 :〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JAビル 33F
電話番号 :03-6271-8285
Fax 番号 :03-5218-2536
E-mail :zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先番号:03-6271-8285

使用上の制限 : 水耕栽培用培養液の pH 調整剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害

急性毒性(経口)	区分外
皮膚腐食性・皮膚刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分 1(呼吸器)、区分 2(血液)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分 2(血液、呼吸器、歯)

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険	
危険有害性情報	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷	H314
	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い	H361
	呼吸器の障害	H370
	血液の障害のおそれ	H371
	長期又は反復ばく露による血液、呼吸器、歯の障害のおそれ	H373

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋、保護衣、保護メガネ、保護面を着用すること。(P280)

【応急措置】

- 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331)
- 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
- 吸入した場合、呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)
- 直ちに医師に連絡すること。(P310)
- 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)
- 特別な処置が必要である。(この SDS の補足の応急処置指示『4. 応急措置』参照)(P321)
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。(P363)

【保管】

- 施錠して保管すること。(P405)

【廃棄】

- 内容物、容器を都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 化学名(又は一般名) : pH 調整剤(下降用)

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
非公開	非公開	-	-	-

* 各法令通知対象に該当する成分情報については『15. 適用法令』参照

4. 応急措置

吸入した場合

- 被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 呼吸困難を訴える場合には酸素を吸入させる。
- 症状は遅れて現れる場合がある。
- 安静を保ち、速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

- 速やかに衣服等を脱ぎ、製品が付着した部分を流水と石鹼を用いて十分に洗浄する。
- 刺激等の異常が認められる場合には医師の診断を受ける。
- 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合

- 速やかに流水にて 15 分間以上の洗浄を行う。洗浄は瞼を指で開いてすみずみまで十分に行う。
- 医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

- 意識が無い場合、急速に意識を失っていく場合、あるいは痙攣をおこしている場合には口から何も与えない。
- 口をゆすがせ、大量の水を飲ませる。吐かせてはならない。
- 嘔吐する場合には肺に嘔吐物を吸い込まないようにうつ伏せにさせる。水を繰り返し与える。
- 速やかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

- 火災の状況に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

棒状注水

特有の危険有害性

- 本品は不燃物であるが、加熱によって分解し、火勢を拡大させるおそれがある。
- 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特定の消火方法

周辺火災の場合であって、何ら危険性を伴わない場合には、火災延焼のない安全な場所に移動させることが望ましい。移動できない場合には、容器とその周辺に散水して冷却させる。

容器内に水を入れてはいけない。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

必ず自給式呼吸器と適切な保護服を着用して安全な距離から風上より消火を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立入りを禁止する。

適切な保護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

風上に留まる。密閉された場所は換気する。

環境に対する注意事項

河川等に排出されて環境への影響を起さないように注意する。

封じ込め及び浄化方法・機材

危険でなければ漏れを止める。

少量の場合には布等で拭き取る。使用した布等は水で十分洗浄した後廃棄する。

大量の場合には盛土で囲って漏洩規模の拡大を防ぐ。

密閉可能な容器に可能な限り回収して廃棄する。

残渣は中和した後大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

使用前に使用説明書を入手すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。

眼、皮膚に付けないこと。飲み込まないこと。

蒸気やミストの吸入、皮膚や眼への接触は避ける。長期あるいは反復暴露を避ける。

本品の用途(水耕栽培用培養液の pH 調整剤)以外に使用しない。

保管

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

他の容器に移さず、直射日光を避け乾燥した場所で密封して保管する。

極端な高温及び低温下での保管を避ける。

他の物と離して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。また全体換気を適切に行う。

管理濃度、許容濃度

管理濃度(作業環境評価基準(昭和 63 年労働省告示第 79 号))は設定されていない。

日本産業衛生学会又は AGCIH が許容濃度を設定している成分を含有している。

保護具

呼吸器の保護具 : 必要に応じて個人呼吸器保護具を使用すること。

手の保護具 : ニトリルゴム及び塩ビは適切な保護材料ではない。ネオプレンが推奨される。飛沫がとぶ可能性のあるときは、全身の化学用保護衣(耐酸スーツ等)を着用する。

眼の保護具 : 安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。

皮膚及び身体の保護具 : しぶきの可能性がある場合は全面耐薬品性防護服(例えば、酸スーツ)及びブーツが必要である。一切の接触を防止するにはネオプレン製の、手袋、エプロン、ブーツ又は全体スーツ等の不透性の防具を適宜着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: 液体
色	: 無色
臭い	: 無臭
pH	: 2.4 (1000 倍希釈液)
融点/凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重(密度)	: 1.29
溶解性	: 水と任意の割合で混和する
オクタノール/水分配係数	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

正常な状態で保管している場合は安定。

危険有害反応可能性

高温になると有害なガスが発生し、容器内圧が上昇する。また加熱によって分解し、火勢を拡大させるおそれがある。

避けるべき条件

高温

混触危険物質

酸と反応して有害または危険なガスを発生させる物質、金属粉末、カーバイド、硫化水素、テルペンチン、有機酸、可燃物、有機物あるいは容易に酸化される物質等

危険有害な分解生成物

知見なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口 LD₅₀ : 3566 mg/kg(♂マウス)¹⁾

皮膚腐食性/刺激性

区分 1 に分類される成分を 5% 以上含有するため区分 1 とした。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性

区分 1 に分類される成分を 3% 以上含有するため区分 1 とした。

遺伝毒性

Ames 試験 : 陰性¹⁾

生殖毒性

区分 2 に分類される成分を 3% 以上含有するため区分 2 とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分 1(呼吸器)に分類される成分を 10% 以上、また区分 1(血液)に分類される成分は 10% 未満含有するため区分 1(呼吸器)、区分 2(血液)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分 1(血液、呼吸器、歯)に分類される成分をそれぞれ 10% 未満含有するため区分 2(血液、呼吸器、歯)とした。

12. 環境影響情報

生態毒性

情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

中和した後に排水処理を行う。

知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する。)

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 3264-その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの)
クラス : 8
容器等級 : II

輸送の特定の安全対策及び条件

容器を積載する場合には、落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。容器の破損を避けるため、乱雑な取扱いをしない。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

非該当

労働安全衛生法

特定化学物質第3類物質(特定化学物質障害予防規則第2条第1項第6号):硝酸

危険物・酸化性の物(施行令別表第1第3号)を含む

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9):307硝酸、618りん酸

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9):307硝酸(≤10%)、618りん酸(≤30%)

化学物質管理促進法(PRTR)

非該当

水質汚濁防止法

有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)を含む

船舶安全法

腐食性物質

航空法

腐食性物質

労働基準法

疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)を含む

16. その他の情報

参考

1) OATアグリオ株式会社社内試験報告書

MSDSnavi(日本ケミカルデータベース株式会社、2016)

連絡先

製品に関する問い合わせ先:コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先:公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 (情報提供料:無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料:1件2000円)
大阪 (365日、24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日、9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いします。

本 SDS は、下記 O A T アグリオ株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名 : O A T アグリオ株式会社
住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8 階
担当部署 : 品質保証室
電話 : 088 (684) 0220
FAX : 088 (686) 7055
緊急連絡先電話番号 : 03 (5283) 0251 (本社)